

NKE 新発売

腰サポーター「腰助くん」

NKE(株)(中村道一社長・京都市伏見区羽東師菱川町366の1)はこのほど、人工筋肉を装備した腰サポーター「腰助(ようすけ)くん」を開発、新発売した。主力の産業用自動化機械から生まれたエア駆動技術を活用、伝統の組み紐技術と組み合わせ、人になさしく強力な腰サポーターを作り上げたもので、中腰の作業が多い農林業分野、介護・医療分野などから早くも引き合いが相次いでいる。

エア駆動技術を活かす

人工筋肉を搭載



中村社長

に提供するエア駆動技術の中核として考案されたもので、これに京都の伝統産業である組み紐の技術を組み合わせ、しなやかで強力、軽量な人工筋肉(特許取得)として提供している。

計16本の筋肉が内蔵されており、これにエアを注入することで人工筋肉と補助ベルトによる腰部への強力サポート設計を実現している。

筋力の力によって圧力が腰に集中。お腹への圧迫感が少なく、まるで後ろから腰を支えてくれている。

また着脱はマジックテープで簡単に行えるほか、同製品を装着したままでも、内部の空気を排出するボタンを押すだけで締め付け圧力を開放することができ、わざわざベルトを取り外す必要がない。

その他、①伝統と先端

技術の町、京都にある産業機器メーカーのNKEが独自に研究開発し、組み紐専門店の協力を得て制作した人工筋肉を搭載

高性能人工筋肉は、同社が企業のモノ作り現場

同製品の主な特徴の一つは、お腹が苦しくない快適構造。一般的な腰サポーターが、布の張力で固定するため、お腹が締め付けられ苦しくなるのに対して、同製品は人工

筋肉の力によって圧力が腰に集中。お腹への圧迫感が少なく、まるで後ろから腰を支えてくれている。

また着脱はマジックテープで簡単に行えるほか、同製品を装着したままでも、内部の空気を排出するボタンを押すだけで締め付け圧力を開放することができ、わざわざベルトを取り外す必要がない。

その他、①伝統と先端

技術の町、京都にある産業機器メーカーのNKEが独自に研究開発し、組み紐専門店の協力を得て制作した人工筋肉を搭載



人工筋肉と補助ベルトで腰部を強力サポート「腰助くん」④。畳めば手のひらサイズ⑤



作業機の強度をアップし、収穫後の作業で生

開していく方針だ。

開していく方針だ。

